



沖縄から東大を日常に。 学生団体ALPHA 団体紹介資料

**学生団体ALPHA
2026/3**

理念

マクロ軸：

沖縄から日本や世界で活躍する人を増やす

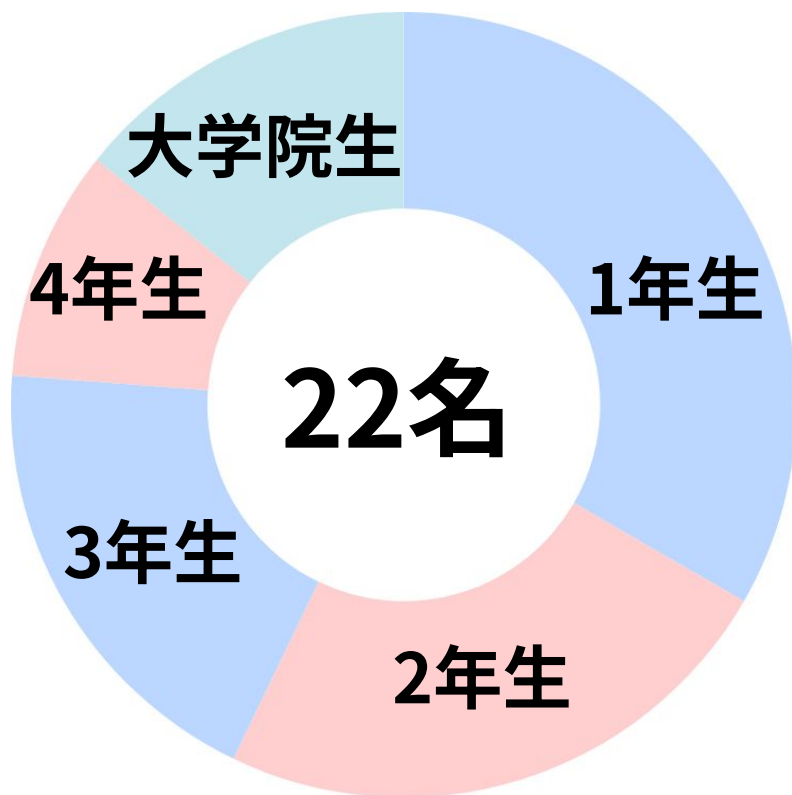
ミクロ軸：

沖縄の生徒が持てる将来の可能性を広げる

沖縄からの東大進学者を増やす 10年後に20名を目標 (47都道府県の約中央値)



団体紹介 - 学生団体ALOHA -



全員が沖縄出身の東大生です！

理想と現状



理想

東大を自らの可能性として認識



問題

心理的障壁の高さ

現状

東大を目指しにくい環境

理想と現状



心理的障壁の高さ

「東京大学なんて行けるわけない」と最初から諦めている

ALOHAメンバーの声

医学部4年生

「先生に進められるまでは
考えてもいなかった」

経済学部4年生

「憧れはあったが指標がないので
自分に合格の可能性があるのか
全くわからなかった」

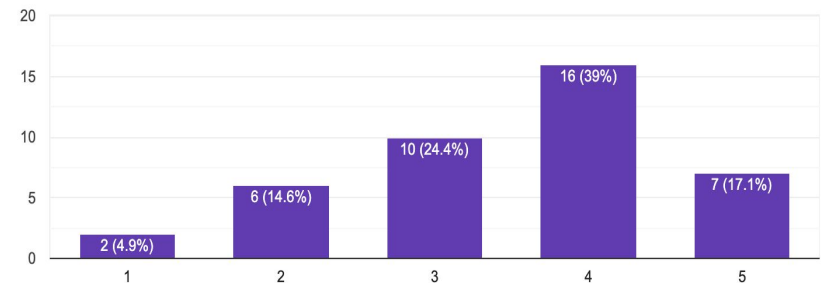
生徒へのアンケート

過去の東大プロジェクトでも
33人/41人が半分以下の自信度

私は東京大学に合格できると思う。

 グラフをコピー

41 件の回答



プロジェクトの全体像（2026年度）



	進路選択支援 プロジェクト	継続	東大受験支援 プロジェクト
目的	将来の視野を広げ、 自分らしい進路を考える		東大合格に向けた戦略的支援
対象	沖縄県内の中3・高1		沖縄県内の高2・高3
集客目標	延べ250名		高2：30名 高3：15名
成果目標	「東大への興味度・志望度の変化」 において最高評価が80%以上		東大合格者：5名
形式と期間	対面とオンライン、2026/4～2027/3		

二つの大きな支援



進路選択支援 多様な価値観や進路に触れる機会を提供

並列しながら連動

他の大学の進学選択肢

就職、専門的なキャリア

多様な価値観の提示

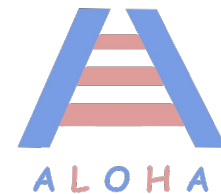
東大受験支援



東大を現実的な
目標として支援

「進路選択支援」という大きな文脈の中で「東大進学」という一つの選択肢を提示し、具体的な挑戦を並行して支援

進路選択支援プロジェクト (中3-高1)



年に3回の**大企画** (対面)
+ 毎月の**小企画** (主にオンライン)

【大企画①：ALOHAサマーキャンプ】

【大企画②：勉強合宿】

【大企画③：東京修学旅行】

+

【小企画 (毎月) 】

大企画①：ALOHAサマーキャンプ



優秀賞付き
春休み実施の
東京修学旅行
無料枠

集え。
この夏本気で、
成績を上げたい者だけ。

【ALOHA Summer Camp】

対象学年：主に**中学3年生～高校2年生**
(その他の学年の参加也大歓迎)

参加要件：**学力層/志望校など一切問いません**

実施期間：**8/1～8/23の毎週金or土** 計4回
(金または土のいずれか片方の参加でOK)

場所：沖縄県立博物館 講座室

申込締切：7/30 (水)

(定員になり次第募集終了)

参加費
無料

※詳細は裏面またはALOHAの公式HP, Instagramにて

目的

- 「目標からの逆算思考」に基づく学習計画の立て方を習得し、夏休みを有効活用する
- 大学での学びや多様なキャリアに触れ、勉強の先にある「未来へのモチベーション」を高める

昨年は応募総数：**150名**・満足度：**8.9/10.0**



※2曜日選択制のため人数は約半分

大企画①：ALOHAサマーキャンプ



社会人講演

現在の仕事や今までのキャリア、学生時代の考え方を伝える場

株式会社太田 社長 太田さん



株式会社福地組 社長 福地さん



大企画②：勉強合宿



CAMP NOTE

勉強合宿 しおり

一泊二日の集中特訓



学生団体ALOHA

勉強合宿

2025.2/23-24

目的

学年を超えて「教え、教わり」互いに刺激を受け、難関大の問題に好奇心を抱いて挑戦する

内容

1泊2日でホテルや研修施設に宿泊
非日常空間で仲間と共に勉強に励む

数学
班対抗戦

東大生の
特別授業

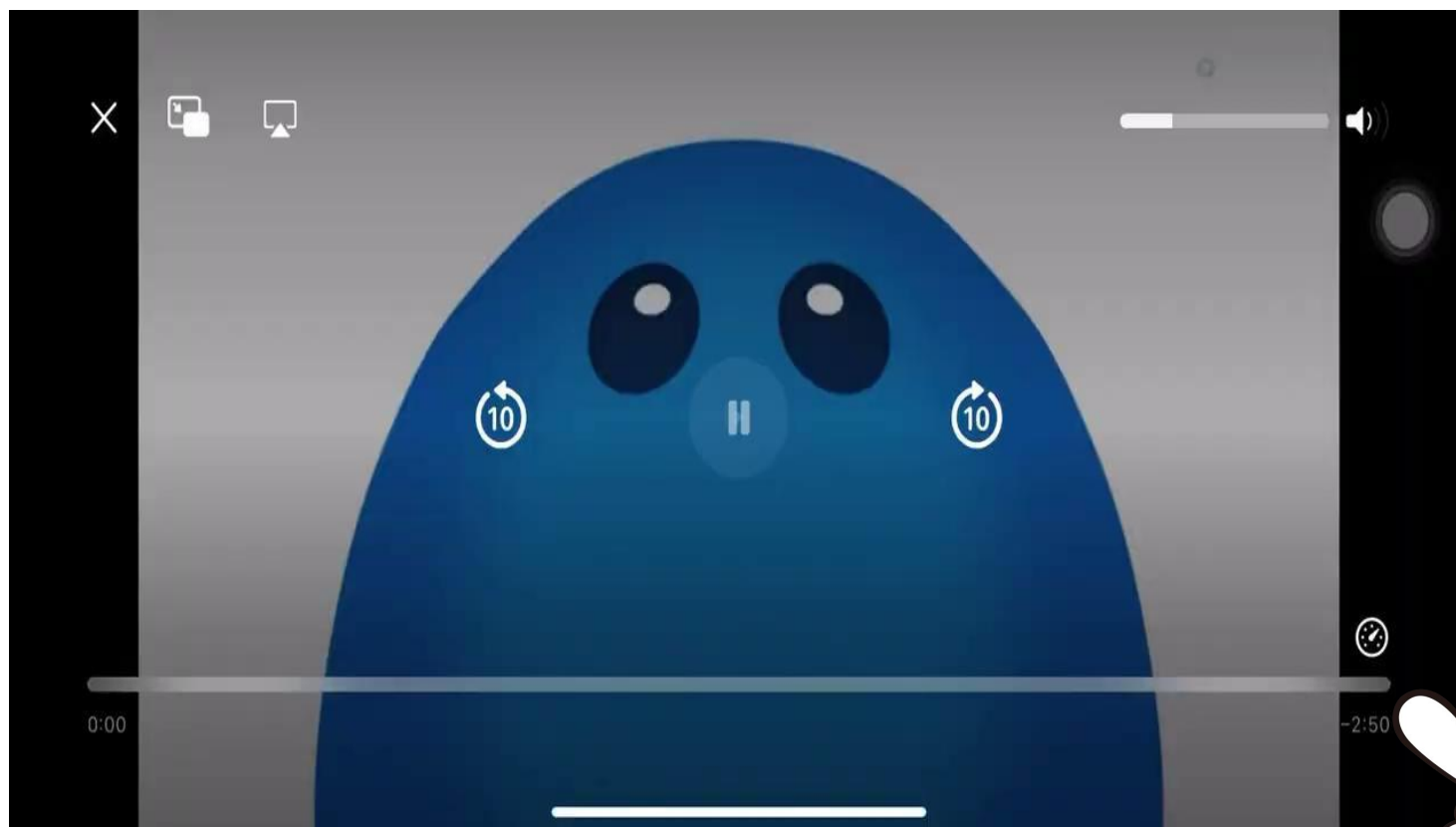
東大過去問
演習

洋楽ディク
テーション

大企画②：勉強合宿



おきなわフィナンシャルグループプレゼンツ
QAB 『17のたね』



CLICK!!

※クリックすると視聴できます



大企画③：東京修学旅行



学生団体ALOHA

Beyond the Border

東京修学旅行

東大生が案内する
日本の最前線を巡るツアー

君の「基準」を
アップデートせよ。

1 東京大学
ツアー

2 社会人講演

3 官公庁
ツアー

ツアー内容

- 本郷キャンパスツアー
- 東大教授による模擬講義
- 県外進学校生徒との交流

ANA

ツアー内容

- 沖縄出身の有名企業社員の方々による講演
- 沖縄出身で東京で活躍している企業の方々のキャリアや仕事内容、大学時の経験などをお聞きます

ツアー内容

- 官公庁訪問
- 官僚の方々による講演
- 国会議事堂ツアー
- 霞ヶ関・永田町の街歩き

● 募集情報 ●

開催日時 2026年4月1日(水)～4月3日(金)

対象 沖縄県内の新高1生、新高2生
(新中3、新高3も可)

参加費 5万円

募集定員 30人(原則先着順)

募集期間 1/3(土)～1/20(火)

● ALOHA奨学生枠 ●

一定の世帯年収基準を満たしている方の内、最大2名を参加費免除いたします。

詳細は必ず募集要項を確認してください！

About us

学生団体ALOHA

沖縄出身の東大生のみで
構成された教育系サークル
団体や活動の詳細はWebで検索！

募集要項・申込み

目的

沖縄という環境による
機会や情報の格差を乗り越え、
県内の中高生が自らの手で将来の選択肢を
広げる原体験を創出する

内容



1. 東大キャンパスへの訪問

キャンパスツアーや東大教授による模擬講義、研究室見学、本土の進学校の中高生との交流を行う



2. 永田町・霞ヶ関への訪問

国会議事堂や官公庁を訪問。沖縄出身の官僚の方々のキャリアや中高大時代の話聞く



3. 企業への訪問

東京にオフィスを置く企業へ訪問し、そこで働かれている沖縄出身の方の話聞く

二つの大きな支援



進路選択支援 多様な価値観や進路に触れる機会を提供

並列しながら連動

他の大学の進学選択肢

就職、専門的なキャリア

多様な価値観の提示

東大受験支援



東大を現実的な
目標として支援

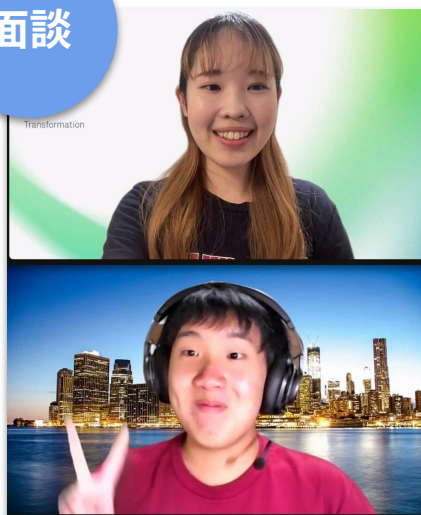
「進路選択支援」という大きな文脈の中で「東大進学」という一つの選択肢を提示し、具体的な挑戦を並行して支援

【計画フェーズ】

受験の全体像を掴み 学習計画を立てる

- 受験戦略講義
- 科目別Tips講義
- 定期面談（毎月） ←イチオシ
- 相談LINE対応

面談



LINE

IN

良い勉強方法については、隙間時間の活用を
しします！
セミが漫画を使って押し出しているの、
隙間こえるようになってしまった(私見)と思
うが、隙間時間は重要です。理由は以下です
・高校生は平均1~2時間の隙間時間がある
・毎日同じタイミングで隙間時間がある場合が多い
ので、ルーティン化しやすい
・隙终わりが決まっているので、集中しやすい

例えば1日30分の隙間時間を新たに勉強にあてると
します。
 $0.5時間 \times 365日 \times 2年 \times 1.5倍(集中するの) = 550時間$
受験期に1日8時間勉強するとすると、これは68日
分に相当します。68日分、よりアドバンテージ
があるのは、本当に大きいです。

既読

11:51

生活の中に隙間時間ってあったりしますか？ 🤔

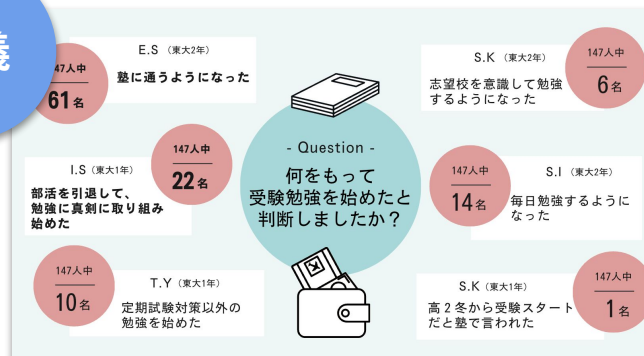
はい、朝などはあるので活かしたいと思
います。また、場所を変えたりなどできそう
なのでやってみたいと思います。

12:

今日 ↓

よかったです。頑張ってください！

講義



東大受験支援プロジェクト



定期的な小企画や面談（主にオンライン）を行います

東大
講師
講演

学生団体ALOHA主催

東大の授業を体験しよう！

～出張模擬講義＆東大生交流会～

日時：12/7(土) 9時～12時
会場：視聴覚教室
@那覇国際高校
※zoomでの参加も可能
対象：中3～高2の生徒
参加費：無料

※志望校・学力は問いません！
※友達との参加も大歓迎◎

申込フォーム

東大の授業って難しそう？つまらなさそう？
いいえ。アクティブで新鮮で楽しい！
東大生400人が受講する大人気の
双方向講義を届けます！

主催 学生団体ALOHA
協賛 株式会社 廣 間

講師：宇野雄司 先生
東京大学 非常勤講師。1965年早稲田大学卒業。1992年二
次大学 非常勤講師。1995年早稲田大学MBA修了。大和証券に入社
し、1995年証券アナリストジャーナル賞受賞。2004年より
大学（東大・東北大・北大・上智大等）で講義を提供。



【実践フェーズ】

実際の学習・モチベ維持を支える

- 東大講師講演会
- 東大生交流会
- 定期面談（毎月）
- オンライン自習室
- 相談LINE対応

交流
会



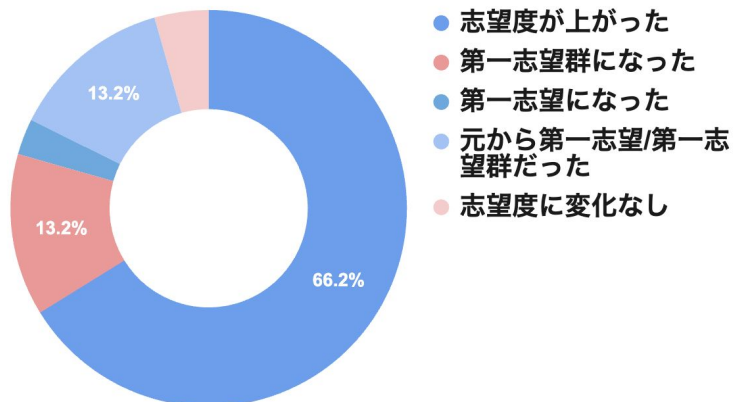
実績紹介 - 学生団体ALOHA -



例：出張模擬講義（2024.12）

参加者68人中
56人が東大志望度上昇
うち11人が第一志望群に

「今回の企画後、東大への心境の変化はありましたか？」



企画/講演会数・参加者数

3年で35以上の企画/講演会
+定期面談

参加生徒数：延べ約2500人
参加保護者数：延べ約250人

効果

東大合格者数 5人
東大志望度上昇率 約80%

※2026年度合格実績は未定のため含まず

メディア紹介 - 学生団体ALOHA -



沖縄テレビ 『Dokyo ハブストーリー』



QAB夕方ニュース 『CHACHY』



琉球新報



目指せ難関大 学びを支援

県出身東大生ら 団体設立
大学見学や交流会、勉強合宿も

県出身の東大生らによる学生団体「ALOHA」が、県内各地の高校で大学見学や交流会、勉強合宿などを開催している。県内各地の高校で大学見学や交流会、勉強合宿などを開催している。県内各地の高校で大学見学や交流会、勉強合宿などを開催している。



東大から沖縄に思い馳せて

伊礼 漢 学生団体ALOHA代表
東京大学経済学部4年



私たち学生団体ALOHAは「沖縄から東大を日常に」をスローガンとして掲げ、沖縄から東京大学を目指す生徒を支援している。団体設立のきっかけは二つある。一つ目は、東大に来て感じた教育格差だ。カリキュラムや経済的な格差以上に感じたのは、東大を目指すきっかけの数的な差であ

る。本土の進学校では安定的に毎年何十人と東大や京大に進学する生徒がいるため、「この席次なら東大に行けるな」「あの先輩が東大生なら私も行けるかも」という感覚が存在する。

しかし、沖縄にはそういった環境が皆無だ。沖縄から東大に来た学生にきっかけを聞いてみると、

「先生が『東大に行けるんじゃない?』と言ってくれた」という声が多く挙がった。私もその一人である。本土のようなベンチマークが存在しないため、誰かに気付かせてもらう必要があるのだ。そして、この役割を今度はわれわれが担うべきだと感じた。

もう一つの設立理由は、沖縄への思いだ。私は塾の恩師に「東大でたくさん学びながら、沖縄に少しでも思いをはせてほしい」と言われていた。その方は沖縄の発展に熱い思いを抱いており、その真

献心に私も影響を受けた。何かできることはないだろうか考えた時、今私が一番できるのは、周りの東大生を巻き込み、沖縄の後輩の手助けをすることだと感じた。

この活動は将来の沖縄の発展につながると思っている。沖縄から東大に進学する生徒が増え、彼らが沖縄に思いをはせながら世界中で活躍し、最終的にそれぞれの形で沖縄に還元する。この循環が生まれた時、沖縄はさらに素晴らしい島となるのではないだろうか。

現在のご協賛企業



以下の企業様のご支援のおかげで、
沖縄の生徒たちへの機会提供が可能となっております。
本当にありがとうございます。

